

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

あけましておめでとうございます。
今年も皆様どうぞよろしくお祈りします。

さてさて。
本日は元旦ですが、今日届いた年賀状は、なんと合計1枚を達成しました。

いや、違うよ、喪中だから少ないんだよ！
まあ喪中じゃなくても、毎年そんな感じだけど！

そしてメールに至っては、リアル友達にもらった数よりも、ブログの読者様にいただいた数の方が、マジで多かったというこれまた快挙。

まあ実際は、ブログのファンが多いのではなく、リアル友達があまりにも少ないから、こういう結果になるわけですが……。

とにかく、ご挨拶をくださった皆様、ありがとうございました。
相変わらずこんなノリですが、今年も引き続き、読んでくださると嬉しいです。

それから毎月恒例の、パブー版の紹介を。
現在36か月ということで、地味に3周年を達成しました。

【らくだ図書館(36)】
<http://p.booklog.jp/book/93715>

3周年ってスゴイと思いませんか？
中学生や高校生だったら、もう、卒業しちゃってますよ(汗)

そういう自分は、ワナビを卒業できる気配ゼロですが、これはこれで精いっぱい楽しみながら、ブログも投稿も続けていきたいと思います。

こんばんは、らくだです。

ふと思い立って執筆フォルダを整理整頓していたら、今選考中のとある賞で、すごいミスをしていることに気が付きました。

その作品は、一度完成させた後に、大幅に書き直したんですよ。
途中のエピソードとか、メインキャラの名前とか、かなり大胆に入れ替えて。

そんなわけで、まったく同じ作品ファイル名で、旧バージョンと新バージョンが存在しております。

どうでしょう？

ここまで説明しただけで、もう十分に、危険な匂いがしますよね？

はい、そうです。

注意したはずなのに、やってしまいました。

ズバリ、応募原稿は新バージョンなのに、添付したあらすじは旧バージョン！
キャラ名変えたから、あらすじで大活躍している人物が、本文に登場しない！

うん……。

もう自分が信じられない……。

いやホント、ここまで間抜けな話をすると、受け狙いの虚言みたいですが、マジでやっちゃったんですよ……（涙目）

というわけで、今月発表の某賞は、1次落ちが確定しました。

結果が出たらまた書きますが、さすがにこの失敗はひどすぎるので、しばらく真剣に反省しようと思いません。

初詣に行ってきました - 2015.01.03 Sat

こんばんは、らくだです。

今日はそこまで寒くもなく、天気もよかったので、初詣へ行ってきました。

行先はコチラ、中山観音です。



今まで初詣は毎年京都へ行ってたんですが、今住んでいる住所だと、兵庫方面の方が出掛けやすいので……。

というわけで、山門（入口）です。

時間は13時頃ですが、青い空が素敵ですね。



通りの左右には屋台が出ていて、非常に賑やかな雰囲気でした。

人混みをすり抜けて、参道を上がっていくと、下の写真の通り本堂が。

おお、おみくじ！

さっそく挑戦してみましよう！



今年の運勢は、……「吉」！

ちょっと平凡すぎる気もしますが、そこはまあ、シンプル・イズ・ザ・ベストです。
なにしろ去年は、「吉凶未分末大吉」という、謎の運勢でしたからね（汗）



お地藏さんの前を通り抜け、大願塔へ向かいましょう。

青い空に朱塗りが映えますね。

中山寺は真言宗だそうで、お堂から般若心経が聞こえ、いかにも密教的な雰囲気です。



塔の前は広場になっていました。

ちょっとした小高い山なので、阪神間の景色がよく見えます。
さえぎるものが何もないので、夜景は素晴らしいでしょうね。



ちなみに、吉のおみくじには、「困難に立ち向かう気力、勇気、忍耐が充分であれば、大いに物事成就する」とありました。

今年はこれを信じて頑張ってみます。

なにしろ小説投稿には、気力も勇気も忍耐も必要だし、大事な指針ですよ。



最後にオマケ。

たこ焼きの写真でお別れです。

急いで大量に作っているせいかドロドロでしたが、これはこれで食べやすくおいしかったです。



2015 年もどうぞよろしくお願ひします！

こんばんは、らくだです。

ようやく年末年始の休みが終わり、今年が本格的にスタートしますね。
お正月にダラけすぎて、元の生活に戻るか不安ですが、気合い入れて頑張ります。

さてさて。

先月はエッセイ・ブログ大賞へ、たくさんの応援をいただき、ありがとうございました。

おかげ様をもちまして、締切り時点の総合順位は、166作品中なんと7位！

いやもう、素晴らしいです。

エントリーした段階では、1桁でフィニッシュなんて、想像もしませんでした。

最終的な結果については、今月中旬に発表予定らしいので、その頃にまた改めて感想を書きたいと思いま
す。

あと、話はまったく変わりますが。

応募原稿の取り違えの件、「自分も経験ある」って方が、結構いらっしゃるようで（汗）

はっはっは！

みんな詰めが甘いな！（お前が言うな）

いや、ファイル名は日本語不可で、英数字表記にしろって場合もあるので、余計にややこしいんですよ
ね……。

それから、ファイル自体は正しいのに、本文とあらすじを逆にアップしたりとか（爆）

せっかく投稿した作品が、データ不備で落選なんて、あまりにも悲しいですよ。

今さら言うまでもないですが、ウェブ応募をする際は、十分に気を付けたいと思います。

昨日データ不備で落選なんて悲しいって話を書いたけど、よく考えたら、しっかり読まれた上で落選するのも悲しいと思います。

【今日の格言】

「悲しくない落選は存在しない」

とまあ、そういうわけで。

幾多の悲しい落選を乗り越え、投稿情報を発信してきた「らくだ図書館」は、おかげ様で更新 1,100 回を迎えました。

わーい、パチパチ！

いつも訪問してくれる読者様、どうもありがとうございます！

ここまで長い期間続けられたのは、読んでくれる皆様がいたからです！

まあでも、更新 1,100 回って、中途半端な気もしますけどね。

すでに 1,000 回を突破したのに、100 回単位で祝っても……みたいな。

とはいえ記録は記録に違いないし、ここまで来るのも簡単ではなかったもので、こうなったら行けるところまで行きたいです。

ああ、そうだ！

ワナビブログ王に俺はなる！

え、何？

ワナビブログ王よりも作家を目指せ？

それは確かにそうなんですけど（汗）、どっちもやりたいのが自分の正直な気持ちなので、両立できる人間を目指そうと思います。

こんばんは、らくだです。

ここ数年のデビュールートとして、ネット小説からのスカウトが激増しているのは、すでに皆様もご存知の通りです。

自分はそういう最近の状況を見て、ズルイと思っていたんですよ。

だって、思いませんか？

ネット小説の人は、自分が好きなものを、好きなように書いてるだけじゃん……って。

それに対して公募の人間は、落選するし、ダメ出しされるし、続編も書けないし、枚数の制約だってあるし、ネットで公開もできないし、とことん悪いところ取りだなーって。

長らくそう思っていたんですが、ブログを何年も続けているうちに、ちょっと考えの変化がありまして。

自分が好きなものを、好きなように書くのは、簡単だし楽しいです。

データさえ用意すれば、ネットにアップなんて、数秒でできちゃいますし。

ただ、発信自体は簡単だけど、それを見つけてもらって、読者に読んでもらうのは、ものすごく難しいことです。

ましてや、読み続けてもらうとなれば、それこそ至難の業と呼べるわけで。

だからこそ、それを実践できている人達は、周囲から評価されるのも当然で、決してズルイわけじゃないんだよなーと。

結局ネット小説でも公募でも、簡単にデビューできる方法なんて、存在しないんだと思います。

文句ばかり言ってないで、その事実を忘れずに、日々精進したいと思います。

こんばんは、らくだです。

自分でもビビっているのですが、このブログの単純アクセス数が、1日で1,000PVを突破したようです。

え、えっと……？

オイラ何かしたっけ……？

いやでも、正直ビビりつつも、この勢いは嬉しいです。

みんな、どうもありがとう！

でも本音をぶっちゃけると、そのアクセス数、投票期間中に欲しかったよ！

なにしろ投票ポイント+訪問ポイントで評価だから、それだけアクセスを稼げたら、結構インパクトあったんじゃないのーみたいな。

や、でも、次回も参加しますからね。

来たるべき1年後に向けて、さらに読者を増やせるよう、地道に頑張ろうと思います。

最近改めて思うんですが、読者を増やしたければ、内容を充実させるしかないなーと。

リンクや宣伝も大事だけど、肝心の内容が面白くなければ、1度きりの訪問で終わっちゃうと思いますし。

なので、何気なく来てくださった方に、リピーターになってもらえるよう、小さな努力を積み重ねていこうと思うわけです。

とにかくまあ、そんなわけで。

今後もらくだ図書館を、よろしく申し上げます。

今日の運勢は「ずっと待ち焦がれていたものが手に入り、ひたすら我慢していた願いが叶います」だったけれどHJで1次落選した常木らくだのブログへようこそ！

いや、占いのコメントなんて、元から信じてないけどさ？
発表日の運勢がコレだったら、やっぱり期待しちゃうじゃん？

ってなわけで、占い不信に陥りつつ、リンクを貼っておきますね。

【発表ページ】

<http://hobbyjapan.co.jp/hjbunko/novelawards/>

応募総数 475作品
1次通過 110作品
通過率 約23%

そういえば以前、落選報告をあまりにも頻繁に書いているせいか、「あまり捨て身にならず、どうかご自愛ください」という、いたわりコメントをいただいたことがあるのですが……（汗）

大丈夫っす！

捨て身な姿勢はデフォルトです！

っていうか、落選報告はみずから進んで書いているので、ご心配なく。

自分が持たいプライドは、「落選を隠すプライド」ではなく、「落選を披露した上でなおも挑戦を続けるプライド」ですので。

なので今回は残念でしたが、ここで立ち止まることなく、次へ向かって前向きに進みたいと思います。

ラノベの賞には個性的な名前がついていますが、それぞれの賞名は、たぶんこういう文章の略だと思いません。

ガガガ ⇒ 「ガガガガーン、落ちた！」
GA ⇒ 「ゲゲッ、あり得ない！」
HJ ⇒ 「本当に落選？ 冗談だろ！」
MF ⇒ 「マジかよ、フラれるなんて！」
SD ⇒ 「スベっちまったぜ、どうすりゃいいんだ！」
えんため ⇒ 「エンドマークかよ、ためんねえな……」

各賞の関係者様すみません。
悪気はまったくありませんので。

でも、くだらないのは百も承知だけど、こんなグチ(?)も書きたくなりますよ。

だって、ほら！
実際すべての賞で、落選の経験あるし！

ま、ウダウダしても仕方ないので、気持ちを切り替えて前向きに頑張ります。

そして、この流れから報告するのもアレですが、大幅にリニューアルしたコバルトノベルに投稿しました。

ウェブ投稿しましたが、データの件、今回は間違ってます。
ってというか、コバルトの確認をしている中で、他賞の間違いに気が付きました(汗)

それはともかく、要項が大幅に変わったので、発表時期や発表方法について、まったく予測ができませんよね。

まだ当分先ですが、ウェブ発表の導入を期待しつつ、ドキドキ待ちたいと思います。

こんばんは、らくだです。

ドラクエ5の中で、一番好きな仲間モンスターは、ばくだんいわです。

さて、今回は保険の話です。

世の中には各種各様の保険があって、加入することで安心を得られます。

万一不測の事態に遭遇したり、心身にダメージを負っても、保険がカバーしてくれます。

ならば思う！

落選保険があってもいいじゃないか！

いやだって、落選は不測の事態だし、心身にダメージも負うし、保険があっても変じゃないと思うんですけど？

もし本当に落選保険に加入できたら、たぶん自分は、保険詐欺並みに請求をかけます。

まあ実際は詐欺ではなく、それだけものすごい勢いで、落選しまくっているわけですが。

あっ！

ここまで読んで、「らくださん、最近ちょっと迷走してるな」と思った、そのアナタ！

それは大きな間違いで、正しくは、

(誤) 最近ちょっと迷走してる

(正) いつも激しく迷走してる

という、お決まりのオチで、今夜のブログは失礼します。

ちなみに、保険会社の関係者様がいらっしゃれば、落選保険の商品化をマジでよろしくお願いします。

ブログに真面目な話を書いたら「もっとギャグを」というコメントが届いて、それならギャグを書こうと思って書いたら「面白くない」というコメントが届くので、これから何を書いたらいいか根本的にわからない常木らくだです。

あの……。

ちょっと待ってよ……。

小説はプロ志望で書いてるんだから、厳しく批評されるのは当然だと思うけど、趣味のブログまで容赦なくダメ出しされたら、さすがにテンション下がるってばよ。

いや。

面白くないんだったら、そういう感想で、まったく構わないですが。

お世辞で褒められたり、無理して笑ってもらっても、全然嬉しくないですし。

ただ匿名でコメントされると、こちらからは返信ができないので、投げてもらったボールを返すことができません。

というわけで。

苦情をお持ちの場合は、ツイッターなりメールなりで、直接送ってきてください。

メールアドレスはコチラです↓↓↓

rakuda_tsuneki @ zenno.jp (送信時は@を小文字に)

あとウェブ拍手コメントは非公開なので、文中にメールアドレスを記載してもらえれば、質問や苦情やクレームなどに返信します。

内容のある批判は歓迎ですが、匿名の悪口は更新意欲が下がってしまうだけなので、どうかよろしく願います。

こんばんは、らくだです。

昨日は文句めいた話を書きましたが、その後創作仲間さんに話を聞いてもらい、気持ちが非常にスッキリしました。

やっぱり話すの大事。
溜め込んじゃうのよくない。

それに冷静に考えれば、ブログに寄せられるメールやメッセージは、「応援9」:「苦情1」くらいの割合ですからね。

なので、9の応援を無駄にしないよう、これからも走り続けたいと思います。

ただ苦情は直接送って欲しいというのは、今後活動を持てる上で本当にお願ひしたいので、昨日の記事はそのまま置いておくことにします。

さてさて。
執筆の近況ですが、やっと書き始めた作品が、まったく進んでおりません。

先月ちょっと書いたんですけどね……。
いざ年末年始が終わったら、なかなか時間が確保できず……。

出掛ける前の30分とか、それに寝る前の1時間とか、あいた時間はあるんですけど。

しかしその時間に執筆をすると、思いつき書きたくなって逆にイライラするので、迂闊に作業できないっという(汗)

こういうコマ切れ時間を上手に使えたら、書ける量は絶対に増えると思うので、今後身につけていきたい能力です。

こんばんは、らくだです！

今さら弁解がましいですが、落選保険の記事は、あくまでもジョークです！

いやだって、「そんなもん成立するわけねーだろ」って指摘が大量に来て、このままだと自分がすごくバカみたいで寂しいので……（涙）

いやまあ、バカみたいってというか、実際すごくバカなんです。

そんな保険が成立しないことは、充分理解しているので、これ以上責めないでください。

さてさて。

本日は野性時代の2次発表がありました。

ウェブ発表がない賞なので、リンクは載せられませんが、通過情報は以下の通りです。

応募総数 860作品

2次通過 23作品

通過率 約2.6%

残念ながら自分の名はありませんでしたが、通過された皆様はおめでとうございます！

でも野性時代さんって、自分が一般文芸で通過できた、唯一の賞なんですよね。

今回の結果は残念でしたが、これに懲りずに、次回またチャレンジします。

それから話は変わりますが、「苦情は直接お願いします」の記事に意見を寄せてくださった皆様、どうもありがとうございました。

届いたメールについては、すべて返信いたしました。

これからも悩んだり迷ったりすると思いますが、ブログは今まで通りのノリで続ける予定なので、あたたかく見守っていただければと思います。

こんばんは、らくだです。

いつも読んでいる投稿者さんのブログに、「料理と執筆は似ている」という話題があったので、自分も真似してその話をしてみます。

料理も執筆も想像力が大事です。

素材をどう扱うか、味付けはどうするか、全体のバランスは……。

それプラス、自分が思う「料理と執筆の大きな共通点」は、「実際にやらなきゃ上達しない」という部分。

料理って経験が大事じゃないですか。

レシピ本を 100 冊読んだら、腕前が上がるかっていうと、全然そんなことないわけで。

もちろん知識も必要だけど、上達するために大切なのは、自分でたくさん挑戦して、そしてたくさん失敗すること。

「何が悪かったのかな」、「しょうゆが多すぎたかも」、「煮込む時間が足りなかった」、「次はこの部分に注意しよう」……。

料理が得意な人っていうのは、そういう経験の積み重ねが大量にあるわけで、それは自分でやらなきゃ身につかない能力です。

これって執筆にも言えますよね。

ハウツー本を 100 冊読んだら、いきなりプロ級の文章が書けるかっていうと、そんなことはありません。

なので料理も執筆も、あんまり理屈を考えすぎるより、実際に挑戦して失敗経験を重ねるのが、結局は上達の近道じゃないかなーと思います。

こんばんは、らくだです。

エッセイ・ブログ大賞の最終結果が発表されました。

エントリー作品166本の中から、大賞1本、読者賞1本が選出された模様です。

【発表ページ】

<http://www.alphapolis.co.jp/contPrize/kekka/>

大賞 『きゃっち☆あんど☆いと』

読者賞 『逸脱！歴史ミステリー！』

あ、ちなみに。

らくだ図書館は受賞も最終も無理でした（涙）

でも参加してみて感じましたが、こういう投票系のランキング・イベントって、思った以上に楽しいですね。

知らない方から「投票したよ！」と言われてたり、いつの間にかポイントが増えていて嬉しくなったり、ドキハラハラする1か月間でした。

あと、他のエントリー作品を見て思ったんですが。

なろうのシステムを利用して、エッセイを連載していらっしゃる方が、想像以上に多いんだなーと。

「なろう＝小説」というイメージなので、エッセイを書く発想はありませんでしたが、確かにそれもアリっちゃアリですよ。

今後活動を続けていく上で、参考にしようと思います。

こんばんは、らくだです。

明日はセンター試験らしいですね。
受験される皆様は落ち着いて頑張ってください。

さてさて。

この季節に注意すべき事項というと、真っ先にインフルエンザが挙げられますが、自分はあかぎれに悩んでおります。

いや、マジで痛いんですよ？
そりゃインフルエンザに比べれば、格段に地味ですが、あかぎれを侮っちゃいけません。

何しろ自分は投稿者。
パソコンに打ち込むにしろ、紙に書くにしろ、とにかく指先は酷使します。

たとえば執筆がすごく乗ってきて、無我の境地で入力している最中に、キーの角があかぎれに直撃すると、もれなく痛恨の一撃を喰らいます。

痛いよ！
自分は確かにドMだけど、こんなの全然嬉しくない！

紙に書く場合も、力の入れ具合によっては、痛いですしね（涙）
執筆が趣味の人間に、あかぎれは大敵だなあ……と、改めて思いました。

そんなわけで、受験生の皆様は、手を大切にしてください。

自分はセンター試験は受けませんが、来週F Pの試験があるので、それまでに治したいと思います。

こんばんは、らくだです。

今回は宣伝ですので、興味ねえよって方は、スルーをお願いします。

だいぶ前にも紹介しましたが、当ブログ「らくだ図書館」を、半年毎に製本しております。

この度 2014 年後半分をまとめた、6 冊目となる最新版が完成したので、リンクを紹介させていただきます。



【らくだ図書館6】

掲載記事 : 2014 年 7 月 1 日～2014 年 12 月 31 日

ページ数 : 231 ページ

[ご購入はこちら](#)

ブログのデータを流した本（追加要素なし）なので、あまり派手に宣伝するのも気が引けるんですが、毎回注文してくれる方がいらっしゃるので紹介しました。

ちなみに過去 5 冊分のリンクは、下の記事にまとめてあります。

一応価格を載せてますが、加工オプションによって、値段は変わってきます。

[「らくだ図書館」書籍版](#)

よろしければお手に取ってみてください！

こんばんは、らくだです。

あかぎれで悩んでいる話を書いたところ、「薬を塗った上で手袋して寝るといい」という、治療方法を教えていただきました。

手袋が効果的なのは知っていたんですが、血がつくのがイヤで、今までその方法は試さなかったんですよ。

でも最近は、100円均一でも買えるらしいので、この機会に試してみようと思います。
情報提供ありがとうございました！

さてさて。

今回はなろう系コンペの紹介です。

元々タイアップしていた一迅社さんですが、この度、アイリス文庫のコンペが新設された模様です。

【一迅社文庫アイリス恋愛ファンタジー大賞】

http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif_award/

恋愛要素とファンタジー要素があれば、未完・完成を問わず、自由にエントリーできるみたいです。

締切りは5月19日（火）。

まだ少し時間があるので、これから連載を始める新作でも、充分参戦できそうですね。

それから、第1回が今告知されたばかりですが、要項を見ると第2回の開催もすでに決定している様子です。

なろうで女性向け作品を書いている方は、リンク先を是非チェックしてみてください。

こんばんは、らくだです。

アルク翻訳大賞の結果が掲載される、「アルク翻訳事典・2016 年度版」は、1 月 26 日（月）に発売される模様です。

公式サイト通販はまだのようですが、Amazon に商品データが載っていたので、リンク URL を貼っておきますね。

【Amazon 商品ページ】

<http://www.amazon.co.jp/dp/4757426062>

アルク翻訳は毎年挑戦していたんですが、今年の夏はちょっと忙しく、3 部門とも参加できませんでした。

でもね！

オイラこの賞で最終行った経験あるんだよ！

肝心の小説では、自慢できる経歴が一つもないから、ここでアピール。

あと検索していたら、広告募集の PDF を発見したので、それも貼っておきます。

内部資料みたいですが、普通にネットに上がってるから、特に問題ないですよ？

【広告媒体資料】

<http://www.alc.co.jp/adv/dl/honyakujiten2016.pdf>

この資料によると読者の男女比は、「女性 68 % : 男性 32 %」みたいです。

他にも年齢比や職業構成比が載っているので、翻訳家志望者の方にとっては、チェックすると面白い内容だと思います。

こんばんは、らくだです。

今回の話題は投稿前の下読みについてです。

自分はワナビになって長いですが、周囲の投稿者さんに下読みをお願いしているうちに、とある法則に気が付きました。

文章を書くのがうまい人 ⇒ 文章の改善点を指摘してくれる

キャラの作り込みがうまい人 ⇒ キャラの改善点を指摘してくれる

プロットやストーリー構成がうまい人 ⇒ ストーリーの改善点を指摘してくれる

いや。

当たり前っちゃ当たり前ですが。

けどコレ、当たり前のように見えて、すごく重要なんじゃないかと。

自分の得意分野を伸ばすのは、楽しいし、進んでやるじゃないですか。

進んで積極的にやるからこそ、加速度的に、グングン伸びていくわけで。

でも苦手分野については、なかなか自分から進んでやらないし、頑張っても弱点を克服しようと思っても、何を直していいかわからないような状態で。

そんな時、自分よりその分野がうまい人に見てもらおうと、足りない部分をズバツと指摘してくれるから、すごく勉強になるなあーと思うわけです。

ただそれって、漫然と話しているだけじゃ、なかなか掴めないんですよね。

自分の書いた作品を、具体的に叩いてもらう（いい意味）ことで、勉強できるわけで。

なので、今書いている作品が完成したら、感想を募集したいなと思います。

とはいえ、あまりにも締切り直前になってしまうと、せっかく感想をもらっても直せないの（汗）、1か月くらい余裕をもって仕上げたいです。

こんばんは、らくだです。

前回下読みの話を書いたところ、「らくださんの作品読みたいです」という立候補を、チラホラいただきました。

ありがとうございます（感涙）

まだ募集もかけてないのに、進んで挙手してくれるとか、みなさん優しすぎます。

そんなわけで、一日も早く完成させたいんですが、肝心の進捗は……。

ところで、皆様はご存知でしょうか。

進捗の「捗」って漢字をよく見ると、右側は「歩」じゃないんですよ。

拡大してよく見ると、「ちょん」がないでしょ？（えっへん）

ま、どうしてそれに気付いたかっていうと、最近まで進捗の読み方を「しんぼ」だと思っていて、変換で出てこないから変だなーと思って辞書を引いたら、実は「しんちよく」だったという驚愕の事実。

お前は本当にワナビかって話ですが、はい、これでもワナビでございます（滝汗）

ちょっと話がそれましたが、とにかく進捗状況は思わしくなく、いまだにプロローグを書いています。

書きたい話があるのに、時間がなくて書けないって、すごい焦りますね。

逆の状況（時間はあるけどネタがない）も焦るけど、それとはまた違う焦燥感が。

まあでも、焦っても原稿は進まないなので、いざ時間が取れた時に進められるよう、今は脳内で構想を練っておこうと思います。

こんばんは、らくだです。

ブログの編集画面を眺めていたら、「胃カメラと歯医者どっちが痛い」という検索キーワードがあったので、今回はその件について語ります。

まあ、アレですね。

面白みのない返答をすると、歯医者の治療内容次第です。

ただそう言っちゃうと話が終わるので、あえてどちらかに軍配を上げるなら、自分の感覚では胃カメラだと思います。

他にも勝手に選択肢を増やすと、だいたいこんな感じですかね。

以下、自分が経験した出来事の、「大変だった度」ランキングです。

- 【1位】 赤痢
- 【2位】 骨折
- 【3位】 胃カメラ
- 【4位】 親知らずの抜歯
- 【5位】 水ぼうそう（大人になってから感染）
- 【ブービー賞】 あかぎれ

本当はぶっちぎりの1位があるんですが、それはちょっと言えないので、普通にかける範囲ではこんな感じで。

ちなみに赤痢は、中国でなりました。

あの激痛に比べたら、日本でかかる普通の下痢など、おままごとレベルだと思います。

オチのない話になりましたが、とにかく健康は大事ですね。

こうして執筆ができるのも、健康体があってこそなので、気を付けたいと思います。

こんばんは、らくだです。

今回は久し振りに真面目な話です。

先日苦情の件で落ち込んでいた時に、読者様からメールをいただいて、すごく励まされた言葉がありました。

それはズバリ、「いわれのない誹謗中傷を受けたからといって、やってきたことの価値が下がるわけではない」という言葉。

ブログも小説投稿もそうですけど、やっぱり活動を続けていると、酷評される場合ってありますよね。

そんな時、相手の意見に耳を傾け、受け入れることも必要だと思います。

良薬は口に苦しという言葉通り、苦言を消化することで、成長できる場合も多いですし。

ただケースによっては、酷評という領域を乗り越えて、ただ単なる罵倒じゃないの？ って思う時があったりします。

そんな時は、スルーしてもいいのかな、と思ったり。

いちいち真剣に傷付いて、それで投稿がイヤになったら、悪影響しかないですし。

そうはいつでも、「ためになる良薬」と「悪影響な罵倒」の線引きは、これだけ長く活動していてもすごく難しく、いまだに正解がわからない曖昧な部分なんですけど……。

でもとにかく、芯は強く持ちたいですよ。

投稿をしている以上、酷評は避けられないけど、そこで何を取捨選択したらいいのか。

自分はまだまだ未熟ですが、今後活動が続ける中で、その目を養っていきたいです。

突然すぎる話題ですが、自分は小学生の頃、よく山に登りました。
気軽なハイキングではなく、一週間でアルプス縦走とか、かなり本格的な登山です。

何故かというと、父の趣味が山登りで、無理やり連行されたのです。
しかも父は慎重派なので、荷物がやたら多く、自分も背負わされました。

それで、ですね。
荷物が重ければ重い分、進むスピードも、当然遅いわけですよ。

ただでさえ体力的に苦しいのに、身軽な人にどんどん抜かされて、二重にテンションが下がるわけです。

でも荷物が多のおかげで、いざ山小屋に到着したら、色々なことができました。

飯盒炊爨、日記を書く、一眼で写真撮影、シェラフで寝る、プチ天体観測、図鑑でその日見た植物を調べる……。

それって、手ぶらの人にはできないことで。
山頂で楽しみたいなら、やっぱりそれだけの苦労が必要なのか、なんて思ったものです。

ちょっと強引な展開ですが、これって、夢にも言えないでしょうか。

夢を背負って歩いていると、進めるスピードは遅いです。
手ぶらで歩いている人達に、どんどん抜かされて、テンションが下がります。

でも、そこでリュックを捨てちゃったら、山頂に着いた時に何もできないですよ。
あわてて後悔して取りに戻っても、そこにはもう、リュックはないかもしれませんし。

だからこそ、歩みが遅くてイライラしても、そんな自分を認めてあげるのが、結局は夢への近道なんじゃないかなーと。

まあ、荷物があっても速く進めるなら、それに越したことはないんですが（汗）
とりあえず自分は遅いので、そんな自分を愛せるよう、心の余裕を持ちたいものです。

今日の午前中にウェブ拍手から、「簿記検定がんばって！」というメッセージをくれた方、どうもありがとうございます。

でも違うよ！

今日の試験はF Pだよ！

けどホント、前に書いた内容を覚えてくれていて、それにメッセージが来たりするのは、ブログをやっている上ですごく嬉しいことだと思います。

さてさて。

F Pの結果ですが、自己採点した限りでは、合格点を取れました。

ただ一般的に、3級ではF Pと名乗れないので、引き続き2級を受ける予定ですが……。

でも、アレですね。

ファイナンシャルプランナーの知識は、日々の日常生活でリアルに役立ちます。

自分は王道から変わり種まで、色々な試験や検定を受けてきましたが、一番実用性が高いのはF Pじゃないのかな？と思うくらい。

ローンの有利な組み方とか、将来もらえる年金の金額とか、保険証券の読み取り方とか、所得税や住民税の計算方法とか、実生活に役立つ内容が色々と勉強できます。

履歴書における効果という意味では、もっと他に選択肢があると思いますが、実生活に役立てたいならF Pは超オススメ。

特に遺産相続がらみの知識は、ミステリーを書く時とか、おおいに活用できそうですし。

作中に直接出さないとしても、知識があると、構想の幅も広がりますしね。

とにかく次回は2級を目指して、引き続き勉強しようと思います。

アイクリの追加募集 - 2015.01.26 Mon

こんばんは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

スケートファンクラブの『アイスクリスタル』さんが、来月中旬に新規会員の追加募集をかけるようです。

詳細は下記サイトをご覧ください。

最新のお知らせ欄を見ると、詳しい情報が確認できます。

【アイスクリスタル公式サイト】

<http://www.icecrystalnet.com/>

募集人数 300人

受付期間 2015年02月17日(火)12:00 ~ 18日(水)17:00

申込方法 上記ホームページからエントリー& 応募多数の場合は締切り後に抽選

入会するとチケットの優先販売があるので、フィギュアスケートファンは要チェックです。

しかしアイクリさんって、過去2シーズンくらい募集なかったのに、今シーズンの募集はこれで2度目のような気が。

これは、アレですかね。

トップ選手が相次いで引退したので、脱会者が増えたんでしょうか(邪推)

まあでも、今までずっと抽選に漏れ続け、まだ入会できていない人間としては、こうして追加募集がかかるのは嬉しいです。

上に書いた通り、エントリー開始日は、2月17日(火)。

早速カレンダーに記入しつつ、楽しみに待とうと思います。

こんばんは、らくだです。

年末に冒頭だけ書いて放っていた作品ですが、このままでは永遠に完成しないと気付いた（当たり前）ので、寝る前にほんのちょっとずつ進めています。

しかし、アレですね。

まだ序盤しか書いていませんが、今回は最高傑作だと思います。

まあ、新作を書くたびに、毎回そう思ってるんだけどね！（悲）

この現象って何なのでしょうね。

構想段階では受賞レベルなのに、書き進めると、徐々につまらなくなるっていう。

けど真面目な話、最高傑作はサバ読みですけど、去年の選評で指摘された欠点は、すべて解消できていると思います。

なので、この作品は是が非でも、「おままごとレベル」と書いた編集者さんに読んで欲しいところ。

ああ、そうそう。

以前はあの評価シートを思い出すと、目の前が本気で真っ暗になったんですが、今は「今年の自分はそうじゃないよ！」っていう、すごく自信に溢れた気分になるんですよ。

そういうわけで、ようやく本当の意味で、立ち直れました。

消化しきるのに、3か月くらい要しましたが、もう大丈夫です。

罵倒されたままじゃ、やっぱり投稿者として、悔しいですもんね。

この悔しさを晴らすには、作品で結果を出すしかないなので、あと3か月頑張りたいです。

こんばんは、らくだです。

今回は昔の思い出を語ってみます。

もう1年以上前になりますが、交流していた投稿仲間さんから、「投稿やめます。裏切って申しわけないです」というメールが来たことがありました。

それを読んで、自分は「えっ？」と、驚きました。

何が「えっ？」かということ、「投稿やめます」の部分じゃなくて、「裏切って」の部分です。

なんか……。

「裏切る」とか「申しわけない」とか、そんなこと全然ないのにな……。

自分は投稿が大好きなので、小説投稿者は、みんな仲間だと思ってます。

だけど別に、やめたら敵になるわけじゃないし、もちろん嫌いになることもありません。

投稿をするかしないかは、本人の自由な選択だと思うし、だからこそ罪悪感を持たないで欲しいなぁーと。

そりゃまあ一方が投稿をやめちゃったら、共通の話題は減るのかもしれませんが、それでも仲間であるのは変わらないです。

と返信しようかと思ったけれど、「返事は不要です」と書いてあったので、何もせずに1年が過ぎました。

その方はもう、たぶんここは見ていないと思いますが、願わくば別の世界で新しい夢を見つけていて欲しいですね。

投稿は確かにキッカケだけど、それがなくなっても、自分達は仲間なんだよ……と。

本人には言えませんでしたけど、そんな風に考えた、1年ほど前の思い出話でした。

本日、H Jの評価シートが届きました。

結果自体は1次落ちでしたが、コメントを読んで、頑張ろうと思いました。

H Jさんの評価シートは累計5枚持ってるんですが、どれを読んでも、やる気にさせるのがうまいなあーと感じます。

具体的には、

- ・ いい部分を誉める
- ・ その上で悪い部分を指摘
- ・ この欠点さえ克服できれば、いい部分がさらに際立つ

っていう風に、「上げて下げて上げる」みたいな流れで、改善策を具体的に教えてもらえる感じです。

でも、アレですよ。

自分はH Jさん好きですが、これは個人的な意見ですよ。

どの賞の評価シートがいい……ってというのは、主観に大きく左右される問題だから、万人に通じるような基準なんて存在しません。

自分が常々思うのは、「だからこそ伝聞で判断しないで自分で実際に送るのがいい」っていうこと。

人気の高い賞でも「ナンジャコリヤ」って場合もあるし、逆にあまり風評のよくない賞でも、すごく丁寧なコメントをくれる場合もありますし。

なので、データ収集もいいけれど、それより大事なのは自分の経験なんじゃないかと。

自分は個人的にそう考えているので、今後もあまり身構えず、色々な賞に挑戦してみようと思います。

こんばんは、らくだです。

今回は前回に引き続き、選評について語ります。

今回届いた評価シートでは、文章力で5を貰いました！

いや、いいじゃん。

こんな時くらい自慢させてよ。

電〇の評価シートなんて、おままごとレベルって書かれて、Cだったんだから（吐血）

その件はもう乗り越えたはずなのに、評価シートファイルを開いたらその選評がバーンと目に飛び込んで、古傷を再度えぐられる系投稿者。

そんな一人メガンテはさておき、選評などで文章力を評価されるのは、心の底から本当に嬉しいです。

やっぱり自分は、文章が書きたくて、小説を書いているので。

どれだけイヤな思いをしても、その部分を評価されると、疲れも吹き飛ばす感じです。

ただ、コメントの最後の方に、

『読者はキャラクターやストーリーを目的に読むのであって、文章を目的に読むわけではないから、文章力があるのは「よさ」ではあるが「ウリ」ではない』……と。

HJさんは公開不可なので、言葉は少し変えましたが、そんな趣旨の指摘がありました。

言われてみれば、確かにそうかもしれません。

文章というのはあくまでも、ストーリーを伝えるための、道具に過ぎないわけですし。

でも、「文章なんてどうでもいい」とは思わないので、引き続き腕を磨こうと思います。

それに加えて、キャラやストーリーの部分でも、レベルアップしていきたいです。

こんばんは、らくだです。

こうしてブログをやっていると、たまに感想のメールを頂戴しますが、「この記事に励まされた！」という嬉しい報告をいただきました。

この記事↓↓↓

[モチベーションの上げ方 \(2012年05月06日\)](#)

書いた時期が3年近く前なので、ぶっちゃけ自分でも忘れてましたが、なかなかいい内容だと思います（自画自賛）

自分はカラオケが大の苦手なので、採点で「20点」とか出ちゃって、周囲がドン引きするんですよね。

でも全然、ショックじゃないです。

そもそもカラオケは嫌いですし、高得点を出したいとは、まったく思っていないので。

だけど、カラオケなら笑い飛ばせるのに、小説の酷評は笑い飛ばせないわけですよ。

それは何故かっていうと、好きだし目標もあるし、理想だって高いから。

逆に言うと、理想も目標も全然なければ、ツライ気持ちは芽生えないと思うんです。

投稿をツラく感じるのは、言い換えれば、それだけ本気な証拠です。

そんな本気になれることに、やっと巡り会えた今の自分を、誇りに思ったらいいんです。

というのが、2012年5月6日の、らくだ図書館の記事でした。

まあ正直、メールをいただくまで、自分でも忘れてましたが（汗）

あの時の気持ちを思い出し、これからも頑張りたいです。